教科	数学	学年	第2学年

単元名	時数	単元の見通し（小単元のねらい）	単元の見方・考え方の評価・評価			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度
多項式の計算	5	○単項式と多項式、次数の意味を理解している。 ○同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算ができる。 ○多項式の加法や減法の計算ができる。 ○多項式と数の乗法や除法の計算ができる。 ○多項式についてのいろいろな計算ができる。	○単項式と多項式、次数の意味を理解している。 ○同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算ができる。 ○多項式の加法や減法の計算方法を理解し、計算ができる。 ○多項式と数の乗法や除法の計算方法を理解し、計算ができる。 ○多項式についてのいろいろな計算ができる。	○問題の計算方法と関連付けて、多項式の計算方法を考えようとしている。 ○問題の計算方法と関連付けて、多項式の計算方法を考えようとしている。 ○日常生活にも多項式と数の乗法や除法の計算を考え、説明することができる。	○問題の計算方法と関連付けて、多項式の計算方法を考えようとしている。
単項式の乗法と除法	3	○単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。 ○単項式どうしの乗法や除法の意じゃ方を理解し、説明することができる。 ○式を簡単にしてあめることができる。	○単項式どうしの乗法や除法の計算方法を理解し、計算ができる。 ○単項式どうしの乗法や除法の意じゃ方を理解し、説明することができる。 ○式を簡単にしてあめることができる。	○単項式の乗法や除法の計算方法を、意味図を用いて考え、説明することができる。 ○単項式どうしでまとめ方法を考え、説明することができる。	○単項式の乗法や除法の意味を考えようとしている。 ○式の値をふくして求める方法を考えようとしている。
式による説明	5	○具体的な数の性質をもとに数の性質を考えいた、その性質が成り立つことを文字を使って一般的に説明できることを理解する。 ○文字を使うが成り立つことで、文字を使って説明することができる。 ○数の性質が成り立つことで、文字を使って説明することができる。	○文字を使う2、数の性質を一般的に説明することができることを理解している。 ○文字を使って説明を書しかい、説明することができることを理解し、説明しかけることができる。 ○文字を使って説明を書しかい、説明することがいとわかりて文字式を変形に与することができる。	○数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ○文字を使った説明を読んで数の性質を書いかいて、問題の条件を変えて、考え説明しかけることができる。 ○数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 ○問題の条件を変えて(偶奇性、倍数倍)に考え、説明することができる。	○文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
等式の変形	4	○目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し、等式を変形して、あるを学ことができる。	○目的に応じて等式を変形することの必要性を理解している。 ○等式を変形して、あるを学について理解することができる。		○目的に応じて等式を変形することの必要性を考えようとしている。
連立方程式とその解	3	○2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。	○2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ○連立方程式とその解の意味を理解している。		○連立2元1次方程式の必要性と意味を考えようとしている。
連立方程式の解き方	4	○連立方程式では、1つの文字を消去して1次方程式を1つにみは解けることを理解する。 ○文字の係数が絶対値が等しい場合の連立方程式を加減法で解くことができる。 ○加減法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 ○代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。	○連立方程式では、1つの文字を消去して1次方程式を1つにみは解けることを理解している。 ○文字の係数が絶対値が等しい場合の連立方程式を加減法で解くことができる。 ○加減法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 ○代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。	○文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式で、1つの文字を消去して1次方程式を考え、説明することができる。 ○文字の係数の絶対値が等しいない場合の連立方程式で、1つの文字を消去する方法を考え、説明することができる。 ○一方の式を他方の式に代入し、文字を消去する方法を考え、説明することができる。 ○連立方程式の解き方を身に付け、加減法か代入法を状況が応じて選択することができる。	○2元1次方程式と関連付けて、連立方程式を解く方法を考えようとしている。 ○問題に応じて加減法か代入法を使いわけて、くふうし解こうとしている。
いろいろな連立方程式	4	○かっこをふくむ連立方程式や、係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解くことができる。 ○a=bの形をした連立方程式を解くことができる。	○かっこをふくむ連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 ○係数に小数や分数をふくむ連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 ○a=bの形をした連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。	○いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式にふかして解く方法を考え、説明することができる。	○いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式にふかして解く方法を考えようとしている。
連立方程式の利用	4	○具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するための考え方や手順を理解する。 ○具体的な数に関する問題を、連立方程式を利用して解くことができる。 ○速さ・時間・道のりに関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。 ○割合に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。	○具体的な問題の中の数量や その関係に着目し、連立方程式を つくることができる。 ○連立2元1次方程式を利用して問題を解決するための手順を理解している。	○連立2元1次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 ○求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の条件に戻って考え、説明することができる。	○連立2元1次方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。 ○連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、その手順を検討しようとしている。
1次関数	3	○1次関数の意味を理解し、y=ax+bの形に表すことができる。	○1次関数の意味を理解し、y=ax+bの形に表すことができる。 ○比例y=ax(a≠0)は、1次関数y=ax+b(b=0)の特別な場合であることを理解している。		○1次関数の必要性と意味を考えようとしている。
1次関数の値の変化	3	○一次関数y=ax+bでは、変化の割合は一定で、a(に等しいこと)を理解する。	○1次関数y=ax+bでは、変化の割合は一定で、a(に等しいこと)を理解している。 ○1次関数y=ax+bで、a の値加変かb の値加変を求めることができる。 ○具体的な事象において、1次関数の変化の割合が何を意味しているかを読み取ることができる。	○1次関数の値の変化の特徴を思いだし、説明することができる。	○1次関数の値の変化の特徴を捉えようとしている。
1次関数のグラフ	3	○1次関数のグラフは、そのxとyのすべての集合で、1つの直線であることを理解する。また、1次関数のグラフの切片の意味を理解する。 ○1次関数のグラフの傾きの意味を理解する。 ○1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。	○1次関数のグラフは、そのxとyのすべての集合で、1つの直線であることを理解している。 ○1次関数のグラフの切片の意味を理解している。 ○1次関数のグラフの傾きの意味を理解している。 ○1次関数の値の増減とグラフの特徴を理解している。 ○1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。	○1次関数のグラフの特徴を思いだし、説明することができる。 ○1次関数の表、式、グラフを、相互の関連付けて考え、説明することができる。	○比例のグラフと対比させて、1次関数のグラフの特徴を捉えようとしている。
1次関数の式を求める方法	4	グラフの傾きと切片を読み取って、1次関数の式を求めることができる。 グラフの傾きと通る点から、1次関数の式を求めることができる。 2つの対応する値から、1次関数の式を求めることができる。	○グラフの傾きと切片を読み取って、1次関数を求めることができる。 ○グラフの傾きと通る点の座標から、1次関数の式を求めることができる。 ○グラフが通る点の座標から、1次関数の式を求めることができる。		○1次関数の式を求める条件や求め方を考えようとしている。
2元1次方程式のグラフ	2	○2元1次方程式のグラフは、その解を座標とするxとyの集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解する。 ○2元1次方程式のグラフをかくことができる。また、2元1次方程式ax+by=cで、a=0やb=0の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。	○2元1次方程式のグラフは、その解を座標とするxとyの集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解している。 ○2元1次方程式のグラフをかくことができる。 ○2元1次方程式ax+by=cで、a=0やb=0の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。		○2元1次方程式や連立方程式の解の意味を、グラフを用いて捉えようとしている。
連立方程式とグラフ	2	○連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフのxとyの座標であることを理解し、連立方程式の解とグラフをかくことができる。 ○2元1次方程式のグラフを用いて、連立方程式を解いて求めたりすることができる。	○連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフのxとyの座標であることを理解し、連立方程式の解とグラフをかくことができる。 ○2元1次方程式のグラフを用いて、連立方程式を解いて求めたりすることができる。	○連立方程式の解の意味を、2つの2元1次方程式のグラフを用いて捉え、説明することができる。	
1次関数とみなすこと	2	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。	○身のまわりには、2つの数量の間の関係を1次関数とみなし、問題を解決できる場面があることを理解している。	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。	○1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○1次関数を用いた問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
1次関数のグラフの利用	1	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。	○1次関数のグラフを利用して問題を解決できることや、グラフのよさを理解している。	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。	
1次関数と図形	2	○図形の辺と辺の長さにおいてできる関係の図形の変化を、1次関数のxやyで表すことができる。	○1次関数の関係を、変域ごとにxやyで表すことができる。	○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、変域によって場合分けをして考え、説明することができる。	
多角形の角の説明	3	○n角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを用いて説明することができる。 ○n角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを用いて説明することができる。	○多角形の内角、外角の意味を理解している。 ○n角形の内角の和の性質を、三角形の内角の和をもとにして考えていることを理解している。 ○多角形の外角の和の性質を、多角形の内角の和をもとにして考えていることを理解している。	○n角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを用いて、説明することができる。 ○n角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを用いて、説明することができる。	○多角形の角について学んだことを考えようとしている。
平行線と角	3	○対頂角の意味を理解し、対頂角は等しいことを理解している。 ○2直線が平行になっているときの、同位角、錯角の意味を理解し、平行線の性質、平行線になるための条件を理解している。 ○2直線が平行になっているときの、同位角は等しいことを理解している。 ○2直線が平行になるための条件を理解している。 ○多角形の内角の和が180°であることを理解し、説明が、簡潔さを工夫して説明することができる。 ○多角形の外角の和、外角の和の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。	○対頂角の意味を理解している。 ○対頂角は等しいことを理解している。 ○平行線の性質、平行線になるための条件を理解している。 ○2直線が平行になっているときの、同位角は等しいことを理解している。 ○2直線が平行になるための条件を理解している。 ○多角形の内角の和、外角の和の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。	○対頂角が等しいことを、論理的に説明することができる。 ○平行線の性質を、平行線になるための条件を考え、説明することができる。 ○平行線の性質を、平行線になるための条件を考え、説明することができる。 ○n角形の内角の和が180°であることを、論理的に簡潔さを工夫して説明することができる。	○図形の必要性と意味を考えようとしている。
角の大きさを求める方法を考えてみよう	2	○角の大きさの求め方を、補助線や図形のもとにしていることを説明することができる。		○角の大きさの求め方を、補助線や補助のもとの図形の性質を用いかいて説明することができる。	○平面図形の性質について学んだことを学習に生かそうとしている。
合同な図形の性質と表し方	2	○平面図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。	○平面図形の合同の意味と表し方を理解している。 ○合同な図形の性質を理解している。		○平面図形の合同の意味を考えようとしている。
三角形の合同条件	2	○三角形の合同条件を理解する。 ○2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断することができる。	○三角形の合同条件を理解している。 ○三角形の合同条件を利用して、2つの三角形が合同かどうかを判断することができる。	○三角形の合同条件を、三角形の辺や角のもとにして考え、説明することができる。	○三角形の合同条件を、三角形の辺や角のもとにして考えようとしている。 ○三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。
証明のすすめ方	5	○ことがらの仮定と結論の意味を理解する。 ○推論のもとになるものを明らかにして、単純図形の性質を証明することができる。	○ことがらの仮定と結論の意味を理解している。 ○証明の進め方を理解している。 ○証明のもとになっている図は、すべての点に対して成立していることを理解している。	○証明の根拠となることがらを用いて、簡単な図形の性質を証明することができる。	○証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。
二等辺三角形の性質	3	○あたまとみたを使って、いってもよいかどうかを論述を考え、説明することができる。 ○二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。 ○二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を用いてすべての点が、まっすぐ線の性質を証明することができる。	○二等辺三角形の定義を理解している。 ○二等辺三角形の頂角、底辺、底角の意味を理解している。 ○二等辺三角形の底角の性質を理解している。 ○二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を理解している。 ○二等辺三角形の定義と二等分線の性質を理解している。 ○正三角形の定義と性質を理解している。	○あたらしたを手直で、いってもよいかどうかを論述を考え、説明することができる。 ○二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。 ○二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を証明することができる。 ○二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を、説明が、簡潔さを工夫して説明することができる。 ○二等辺三角形の定義と性質を考え、説明することができる。	○平面図形の性質について学んだことを生活に生かそうとしている。 ○二等辺三角形の性質を証明する方法を考えようとしている。
二等辺三角形になるための条件	2	○二等辺三角形になるための条件を理解して証明することができる。また、二等辺三角形になるための条件を利用して、直線の性質を証明することができる。 ○ことがらの逆と反例の意味を理解する。	○二等辺三角形になるための条件を理解している。 ○二等辺三角形になるための条件を理解しており、逆や例の意味などを説明することができる。 ○ことがらの逆と反例の意味を理解している。	○2つの角が等しい三角形の辺は等しいことの証明について考察することができる。 ○二等辺三角形になるための条件を利用して、直線の性質を証明することができる。	○二等辺三角形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。
直角三角形の合同	3	○直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 ○直角三角形の合同条件を利用して、直線の性質を証明することができる。	○直角三角形の合同条件を理解している。 ○直角三角形の合同条件を利用して、直線の性質を証明している。	○直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 ○直角三角形の合同条件を使って、新たな性質を見出すことができる。	○直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考えようとしている。 ○直角三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。
平行四辺形の性質	3	○平行四辺形の定義と性質を理解する。 ○平行四辺形の性質を証明することができる。 ○平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。	○平行四辺形の定義と性質を理解している。 ○証明のためにいかい図は、すべての点に対して成立していることを理解している。	○平行四辺形の性質を証明することができる。 ○平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。	○平行四辺形の性質を証明する方法を考えようとしている。 ○平行四辺形の性質を学習に生かそうとしている。
平行四辺形になるための条件	4	○具体的な事象を考察することを通して、平行四辺形になるための条件口を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件口を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明し、その証明が長さ・簡潔さに考えたりすることができる。	○平行四辺形になるための条件口を理解している。 ○平行四辺形になるための条件を理解している。	○具体的な事象を考察することを通して、平行四辺形になるための条件口を証明することができる。 ○平行四辺形の性質の逆を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件口を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件口を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件口を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件口を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件口を証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件を証明し、その証明が長さ・簡潔さに考えたりすることができる。	○平行四辺形になるための条件口を証明する方法を考えようとしている。 ○平行四辺形になるための条件を学習に生かそうとしている。
特別な平行四辺形	3	○長方形、ひし形、正方形の定義やそれらが平行四辺形の特殊図形であることを理解する。 ○長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。また、その性質の逆が正しいことを、反例を挙げて示すことができる。	○長方形、ひし形、正方形の定義やそれらが平行四辺形の特殊図形であることを理解している。 ○長方形やひし形の対角線の性質を理解している。	○長方形、ひし形、正方形の定義をもとにして、それらが平行四辺形であることを説明することができる。 ○長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。 ○長方形やひし形の対角線の性質の逆が正しいことを、反例を挙げて説明することができる。	○長方形、ひし形、正方形や平行四辺形との相互関係を捉えようとしている。
平行線と面積	3	○平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	○底辺が同じで高さが等しい三角形の面積は等しいことを理解している。 ○平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	○平行線の性質を利用して、図形を等積変形する方法を考え、説明することができる。	○平行線の性質を学習に生かそうとしている。
荷積に載からいこと	3	○各数値の対応がいくつ現れたら規則性があるかを考えたりして、等比の関係をもとにして表された規則の必要性と意味及び規則の適合性を理解する。 ○身のまわりの事象の中で、等比の関係を使って変換が、簡単で求めることができる。	○各数値の対応がいくつ現れたら規則性があるかを考えたりして、等比の関係をもとにして表された規則を理解している。 ○身のまわりの事象の中で、等比の関係を使って変換が、0.5倍ずつ増えることを理解している。 ○もとっている数を、等比数が一定数ずつ変換が、簡単で求めることができる。	○荷積に載からいこと、荷積に載からいこと、荷積に載からいこと、